

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

事業名 交通機動隊費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 交通部 交通機動隊 電話番号：058-271-2424 (内 733-301)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,130 千円 (前年度予算額：3,002 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,002	806	0	0	0	0	0	0	2,196
要求額	3,130	829	0	0	0	0	0	0	2,301
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

交通機動隊は、岐阜県内での交通事故を防止するため、幹線道路や事故の多発する路線を中心に、白バイ及びパトカーの機動力を駆使した交通取締りを実施している。日頃の訓練や研修での高度な運転技能の習熟は受傷事故防止のために必要不可欠であるが、県内には、十分な訓練を行うコース等を擁した施設がない。

隊員の入れ替えも多く、新隊員の養成に加え、技能と実務能力を備えた指導者の育成も継続的に図る必要がある。また、万一の事故に備えて、被害を軽減させるエアバッグジャケット等の受傷事故防止資機材の整備・更新を図る必要がある。

災害発生時における被災情報の収集や、地域住民の安否確認においても活用するオフロード二輪車については、災害に備えた悪路走行訓練を頻繁に実施するため、損耗が激しく計画的な更新が必要である。

(2) 事業内容

- ・交通指導取締り活動、訓練用資機材の整備・更新
- ・二輪車訓練用コースの使用料

- ・白バイ乗務員用緊急自動車運転技能訓練研修の受講
- ・災害用のオフロード二輪車の更新整備

(3) 県負担・補助率の考え方

県内の交通秩序の維持及び災害時に有効なオフロード二輪車の更新に要する負担であること、また補助率については他の国庫補助対象事業と同様の割合で国庫を充当しており妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	1,766	交通指導取締活動・訓練用消耗品、エアバッグジャケット減耗更新
役務費	16	オフロード二輪車用自賠責保険料
その他	1,348	訓練コース使用料、緊急自動車運転技能研修受講料、オフロード二輪車の更新経費等
合計	3,130	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

「第10次岐阜県交通安全計画」

○道路交通秩序の維持

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

交通取締活動推進のための装備資機材の確保及び白バイ乗務員に対する運転技術の向上により、効果的な交通取締りを実施するとともに受傷事故防止を図り、交通秩序の維持、向上を目指す。オフロード二輪車の整備、及び運転技能の向上により災害出動に備える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
交通指導取締状況	(H)	13,777件 (H29)	9,017件 (H30)	8,548件 (R元)	(H)	%
緊急自動車運転技能訓練（二輪）受講状況	(H)	8人 (H29)	4人 (H30)	4人 (R元)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

交通取締りに伴う交通違反検挙活動、災害発生に伴う救援救助活動は事前予測できず、目標の設定は困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

積極的な交通取締活動を行ったほか、災害出動に備えたオフロード二輪車による訓練を実施した。

- ・オフロード二輪車1台の更新整備

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

白バイの機動力を生かした効果的な交通取締活動が可能となり、交通事故に直結する悪質・危険な交通違反に対する取締りを効果的に実施した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	交通取締活動を通じた交通違反検挙、受傷事故防止及び災害警備活動のため県民の安全・安心に直結するものであり、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	活動に必要な資機材の確保、高度な運転技能の習得により、積極的な交通取締活動の実施、事故防止に効果があった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	有用性の高い資機材を調達しているほか、緊急自動車運転技術研修は新規入隊者に受講させ効率的に推進している。経費の節減にも努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規入隊者に高度な運転技術を習得させることが必要である。 ・ 隊員の安全を図るための装備品の維持・更新が必要である。 ・ 災害時における出動体制を整備する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>継続して隊員の運転技能の向上及び受傷事故防止を図るとともに、機動力を生かした効果的な交通取締活動により交通秩序の維持、向上を図る。災害時における出動体制を保持する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	

